

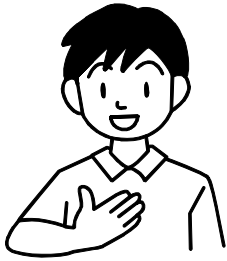
北斗通信

エバーオンワード(限りなき前進)

藤岡市立北中学校校長室通信

平成22年6月16日(水)

NO. 16(通算78)



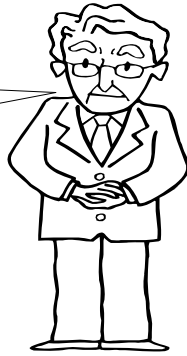
少年の主張大会 堂々たる発表

6月11日(金)、校内少年の主張大会が開催されました。学級、学年で予選を行い、代表の11名の生徒が、力強く、堂々と主張を展開しました。「生きることの意味」「家族の大切さ」「言葉の持つ力」「自分自身の努力」などについての内容でした。審査員として参加してくださいました学校評議員の方々も、口をそろえて、「とても素晴らしい主張を聞かせてもらいました。このような考えを持った中学生がいるということで、安心もしました。」とおっしゃっていました。優秀賞を取った5名の生徒が、7月3日(土)に行われる市大会へ進むことになりました。大会に参加して、他の学校の生徒の主張も含めて、中学生の思いを感じてみませんか。

学校評議員会開催

子どもたちの幸せを願って

校内少年の主張大会同日、北中学校学校評議員会が開催されました。学校評議員の制度は、地域社会に開かれた学校を推進していくため、保護者や地域の人たちなどの相互の意思疎通や協力関係を高めるために設けられたものです。地区の区長さんや地域の有識者の方、昨年度のPTA役員さんで構成されています。



いろいろなことが話し合われましたが、その中で、北中生の挨拶のことが話題となりました。「最近、とても挨拶ができるように感じます。」や「生徒さんのほうから挨拶をしてくれて、びっくりしました。」等の話をいただきました。とてもうれしく感じました。

逆に、生徒たちの話し言葉を憂う意見も出されました。「うざい」「うっせい」等の言葉は、聞くに堪えないというものでした。言葉遣いは、心の表れだといわれます。心が乱れていると、言

葉まで乱れます。かっこいいとか、テンポがいい、みんなが使うからといった理由があるかもしれませんが。でも私から見ると、ちっともかっこよくないし、心が不安定なのかなと思ってしまいます。おそらく、評議員の皆様も同じように心配なさっているのだと思います。



韓国のことわざ「行く言葉が美しいければ、来る言葉も美しい」というものがあります。美しい言葉は、美しい心から生まれるのです。優しい言葉は優しい言葉で、思いやりのある言葉は思いやりのある言葉として自分に帰ってくるのです。美しい言葉のキャッチボールです。美しい言葉は、決して気取った言葉ということではありません。

ごく当たり前の「おはようございます」「ありがとうございます」「失礼します」「申し訳ありません」の言葉を心を込めて言うことだと思います。

我が子の言葉遣いが乱暴と嘆いている保護者のみなさん、自分の言葉は美しい言葉でしょうか。我々教師も自分の言葉を振り返ってみたいと思います。ぜひみなさんも、自分の言葉を意識してみてください。

僕たち頑
張って
います



14日(月)に、市内中学校5校と藤岡工業高校、藤岡北高校、藤岡中央高校、万場高校の校長9人が集まり意見交換をしました。今年の高校1年生が、どの学校でも頑張っているとのこと、とてもうれしく思いました。勉強に、部活動に励んでいるようです。すでに、自分の夢に向かってスパートをかけている生徒もいるとのことでした。

会場校の中央高校の授業を参観させていただきました。どのクラスも、そしてどの生徒も真剣に授業に取り組んでいます。中には私の顔を見てそっと会釈をしてくれた生徒もいました。

ぜひ保護者の皆様も、高校のオープンスクールや説明会などの参加してみてください。